



# 大阪市立 新翼中学校

校長名 北 恵

所在地 〒544-0015 大阪市生野区巽南4-2-53

電話 06-6793-7415 FAX 06-6793-4178

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j672488>



## 教育目標

自己を磨き続け、他者と関わり、共に持続可能な社会を探究する人を育成する

## 重点目標

1. 豊かな心と健康な体の育成
2. 主体的・対話的で深い学びの創造
3. 安全で安心な学校生活

## 標準服

有



## 令和3年度全国学力・学習状況調査

### ● 平均正答率 (%)

国語	数学
63	55

### ● 結果概要

<国語>  
全国と比較して、以前平均点は下回っているが、その差は、年々縮まってきており、「読むこと」以外は大阪府の平均を越えている。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国よりも上になっている。「読むこと」の領域だけが大阪府の平均を下回った結果となっており、長い文を読むことに不慣れな傾向だと読むことができる。

<数学>  
全国と比較して、「図形」領域において、特に「平行四辺形になるための条件を用いた説明」の正答率が低かった。定義・定理・公式の定着と活用が不十分である。

## 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

### ● 種目別平均値 ※持久走と20mシャトルランのうち、20mシャトルランを選択して実施した。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	27.95	24.59	44.29	50.83	-	76.48	8.27	196.18	20.83	39.76
女子	22.83	15.42	40.19	44.03	-	58.03	8.90	165.94	12.94	44.08

### ● 結果概要

【全体的な結果としては、男子も女子も大阪市の結果と比較して、下回っている。特に、女子に関しては、課題が多い。柔軟性、敏捷性など筋力等にも課題をみつめて、今後の体力向上に生かしていく必要がある。集団としては、積極的に授業に参加する姿勢はある。「運動すること」「体を動かすこと」に関しては、肯定的な生徒が多いので、自らの課題意識を持たせて体力の増進させるようにしていくことが、重要と考える。

### ● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、男子では「長座体前屈」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」の項目において大阪市の平均を上回っており、女子では「20mシャトルラン」「50m走」「ハンドボール投げ」の項目において大阪市の平均を上回ったが、「体力合計点」においては、男子で約1点、女子で約4点下回っている。この数年、持久力と柔軟性の向上に取り組んでおり、少しずつ成果が出つつあるようである。「運動やスポーツすることは好きですか」の項目では、男子は90.3%と大阪市や全国平均を大きく上回っており、女子についても72.2%と大阪市の平均を上回っている。運動能力的には高くはないが、運動好きの生徒の割合は高い。

「1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合」は、11.3%、女子で25.7%であり、大阪市の平均と比べて少ない。来年度に向けて、引き続き持久力や柔軟性の向上に向けて取り組みたい。

## 卒業後の進路

過去3年間で進学者数の多い学校を、国公立・私立別に五十音順に記載しています。学校名の後ろに過去3年間の進学者数の累計を記載しています。

過去3年間の卒業生数	令和3年度	79	令和2年度	58	令和元年度	70
------------	-------	----	-------	----	-------	----

### 【国公立】

旭 芦間 阿倍野 (8) 生野 生野工業 扇町総合 大阪ビジネスフロンティア 大阪府教育センター附属 (3) 大阪わかば (勝山・桃谷) (10) 大手前 (2) 豊崎水産 (島根) 鹿兒島南 (鹿兒島) 工芸 高津 (7) 港南造形 桜宮 清水谷 (2) 水都国際 住吉 (3) 住吉商業 中央 天王寺 西 西成 花園 (2) 汎愛 阪南 (6) 東 東住吉 (共生推進教室) 東住吉総合 (13) 枚岡樟風 平野 布施 (2) 布施北 (2) 布施工科 (2) 松原 港 (7) 都島工業 (3) 守口東 八尾 (5) 八尾北 (3) 夕陽丘 (5)

### 【私立】

アナン学園 (3) あべの翔学 (5) 石見智翠館 (島根) 上宮 (4) 追手門学院 大手前 (2) 大阪信理学園 (3) 大阪学院大学 大阪芸芸 (2) 大阪暁光 (2) 大阪産業大学附属 (3) 大阪商業大学 (4) 大阪女学院 大阪信愛学院 大阪夕陽丘学園 (4) 大阪緑蔭 香ヶ丘リベルテ (2) 関西大学高等部 近畿大学附属 (2) 興國 (11) 金光藤蔭 (5) 四天王寺 樟蔭 (2) 常翔学園 城南学園 昇陽 (2) 生光学園 (徳島) 大成学院大学 高川学園 (山口) (3) 天王寺学園 天理 (1部) (奈良) 同志社香里 長尾谷 浪速 西大和学園 (奈良) 初芝立命館 阪南大学 (4) 東大阪大学敬愛 明浄学院 桃山学院 (5) 屋久島おおぞら (鹿兒島 通信制) ルネサンス大阪 YMC A学院

## 校長先生のメッセージ

本校で自慢できるものを3つ紹介します。  
1つ目は、野球部、サッカー部、ラグビー部、ソフトテニス部が同時に活動できるぐらい、運動場が広いこと。  
2つ目は、将来「社会で求められる力」「社会に貢献できる人間」の育成を目指してSDGsの取り組みやICT教育などを積極的に進めており、結果として学力の向上にもつながっていること。  
3つ目は、一人ひとりの生徒の能力を伸ばすことを目的として全教職員が力を結集し合えること。  
新翼中学校は、今後とも、生徒・教職員がともに生き生きと活動できる教育の場を目指すとともに、保護者・地域の皆様から信頼と満足を得られるよう、努力を積み重ねてまいります。

## 運営に関する計画

### ● 計画のエッセンス

- ①生徒が安全で安心できる学校生活を営むことができるよう、いじめ等に関する相談機能の充実や保健衛生面における指導の徹底を図る。
- ②豊かな心や社会に貢献する態度等を身に着けるため、通常の学習をはじめ、さまざまな教育活動において生徒が主体的かつ共同的に取り組む姿勢を大切にする。

### ● 中期目標、年度目標等

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和4年度～令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年100%にする。
- 令和7年度全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽し

い」と思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度における校内アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を70%以上にする。(令和3年度 64%)
- 令和7年度における校内アンケートで「授業内容・方法を工夫している」と答える生徒の割合を80%以上にする。(令和3年度 74%)

#### 【学びを支える教区環境の充実】

- 令和7年度までにタブレット端末を活用してプレゼンテーション・学習発表等を取り入れた授業を実施する教科を100%にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を70%以上にする。

## 「特色ある学習活動」および「家庭・地域等との連携」

### 特色ある学習活動

#### ● キャリア教育

昨年度、2年生（現3年生）で1年生の時から持続可能な社会を目指す17の目標であるSDGsを探究のテーマとしてプロジェクト型学習を実施し、11月12日には大阪市内の企業団体を数名のグループに分かれて訪問した。「学ぶSDGsから、やるSDGsへ」をテーマに、1年生から学んできたSDGsに対して、学ぶだけでなく実際に持続可能性へのアクションをしよう!という趣旨のプログラムで活動を行った。国際協力機構 JICA との協働プログラムで、6月には元海外協力隊の方々や JICA 職員との交流も実施することができた。活動当日は大阪市内の29の企業団体へ数名のグループで午前・午後で2箇所を訪問し、9月実施のオンライン交流でいただいたミッションについてのアクションやプラン、調査結果プレゼンを行った。

企業団体を訪問し、対話することで生徒たちは大きな学びをすることができた



### 家庭・地域等との連携

#### ● 防災教育

毎年、9月の第3土曜日に、南翼社会福祉協議会および生野区役所、消防署そして巽南小学校と合同で、地域を挙げた防災訓練を実施しているが、ここ数年コロナ禍により実施できていない。しかし、年2回の避難訓練では、生野消防署と連携し、地震から火災を想定した訓練を行っている。また、地震から津波を想定した避難訓練では、生野区役所防災担当の方に来ていただき、避難訓練を行っている。避難後、学校長と生野区役所の防災担当の方から自然災害に備えておくことの重要性、災害時に中学生に求められることについてお話をいただいた。また、学校外で災害にあった時に避難ができるように地域ごとに集合し、一時避難場所や一緒に避難するメンバーの確認を行った。自然災害はいつ起こるかかわからないもので、災害時において、中学生の役割は大きいものなので、自分の身を第一に守りながら、災害時に中学生としてできる活動を身につけていきたい

